

ふくしま“ユニバーサルデザイン”メールマガジン第130号をお届けします。

ふくしま“ユニバーサルデザイン”メールマガジン

第130号／2020年1月20日
《発行者／福島県生活環境部男女共生課》

目次

◆お知らせ

令和元年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
ダイバーシティセミナー「あすチャレ！Academy」第2回を開催します

お知らせ

令和元年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

内閣府が実施している、バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進について顕著な功績又は功労のあった個人・団体を表彰する「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の令和元年度受賞者をご紹介します。

1 内閣総理大臣表彰（1件）

（1）一般社団法人 日本玩具協会

[主な功績・功労]

- ・「共遊玩具」の開発推進と普及活動

一人でも多くの子供たちに楽しいおもちゃを届けたいという願いの下、30年にわたり、「共遊玩具」の開発推進と普及活動に努め、共遊玩具の認定基準の策定及び認定プロセスの構築や共遊玩具を必要とする方々への情報提供など主体的な取り組みを行ってきた。

「共遊玩具」とは、目や耳に障害がある子供たちも、健常児と同様に、楽しく遊べるよう配慮されたおもちゃであり、一般市場向けにつくられ販売されている。

2 内閣府特命担当大臣表彰優良賞（4件）

（1）WHILL 株式会社

[主な功績・功労]

- ・全ての人の移動を楽しくする電動車椅子の開発

障害の有無や年齢に関わらず「すべての人の移動を楽しくスマートにする」ことを目指し、車椅子利用者が「車椅子に乗っている人」として見られることを外出時の心理的ハードルとして感じていることに着目。社会の課題をデザインとテクノロジーの力で解決した電動車椅子を開発した。

また、車椅子を「一人乗りの乗り物（パーソナルモビリティ）」として定義し、障害者のみならず、歩行困難者や免許返納者の新しい移動手段として、移動にともなう社会課題の解決に取り組んでいる。

(2) 中橋真紀人

[主な功績・功勞]

- ・障害者に関する映画の自主制作・上映を長年継続

国民の間で理解と共感を得るためには「障害とは何か」という事を具体的に認識してもらうことが不可欠であると考え、障害の持つ特性、その日常生活における困難さ、社会的条件に伴う障壁を一般の人々にわかりやすく伝えることを重視した映画を制作している。

上映についても、全国各地に点在する様々な市民組織の草の根の取組みの力を借りながら多彩な方法で上映活動を推進している。

(3) 特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議

[主な功績・功勞]

- ・しょうがい者・こうれい者観光案内所

那覇空港や国際通りに、しょうがい者・こうれい者観光案内所を設置し、バリアフリー対応の観光地等の情報提供や、車いすやベビーカー等のレンタル、介護タクシーや各種交通機関との連携等を行っている。

- ・逃げるバリアフリー

高齢者や障害者等、介助を必要とする方の災害時の対応にかかるマニュアルである「逃げるバリアフリーマニュアル」を作成。平成 27 年には県内のホテル等と連携し、「逃げるバリアフリー避難訓練」を全国で初めて実施した。

(4) 富士市

[主な功績・功勞]

- ・ユニバーサル就労の推進

平成 29 年 4 月に、市と市議会が協働し、「様々な理由により働きたくても働くことができない状態にある全ての方が自ら選択した仕事に従事すること」を目指し、「富士ユニバーサル就労の推進に関する条例」を施行するとともに、「ユニバーサル就労支援センター」を開設し、「ユニバーサル就労」を推進している。

3 内閣府特命担当大臣奨励賞（4 件）

(1) 株式会社システムギアビジョン

[主な功績・功勞]

- ・視覚支援機器の企画、開発

日本人向けの視覚障害者用読書器をはじめとする視覚支援機器の企画、開発、販売、保守及び輸出入のほか、視覚障害者団体の活動支援や、眼科への情報提供、販売店や支援団体とのネットワーク構築などにより、ロービジョンケアの普及や視覚障害者の就労支援など、視覚障害者の QOL 向上に貢献している。

(2) 特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

[主な功績・功勞]

- ・重度障害者用意思伝達装置等によるコミュニケーションの確立・維持

意思の表出が困難な重度の障害者に対し、意思伝達装置等のコミュニケーション機器を活用してもらうため、障害者一人一人にあった意思伝達装置用スイッチの作成等の支援を実施している。

- ・在宅の重度障害者の就労支援事業の実施

日々の通勤等が困難な重度の障害者を対象に IT 講習会を開催。また、受講生に

対する就労機会の確保として在宅での就労可能なHP制作を請け負うなど、重度の障害者の就労の機会づくりに積極的に関与している。

(3) 株式会社ファンケル

[主な功績・功労]

- ・「視覚障がいメイクセミナー」の実施

社会貢献活動の一環として、「無償」で、高齢者や視覚障がい者向けのメイクセミナーや特別支援学校の生徒向けに「身だしなみセミナー」を実施したり、視覚障がい者や高齢者がより簡単に商品を使えるための、「タッチマークシール」を開発したりすることを通して、従業員が心のバリアフリーを大切にする企業文化を醸成している。

(4) 特定非営利活動法人 横濱ジェントルタウン倶楽部

[主な功績・功労]

- ・人にやさしいまち（ジェントルタウン）づくり

障害当事者、商店街、まちづくり専門家、NPO など多様な立場のメンバーが協力して、商業者と障害者の交流イベントの開催、障害者のサポートや心のバリアフリーを実践で学ぶバリアフリー散策の開催、地域マップと店舗紹介のガイドブックや視覚障害者にも触ってわかる地図である「触る地図シリーズ」の作成、福祉教育・研修の実施などさまざまな活動をしている。

◇表彰に関する詳しい情報は内閣府ホームページを御覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/r01hyoushou/index.html>

ダイバーシティセミナー「あすチャレ！Academy」第2回を開催します

県では、復興や東京オリンピック・パラリンピックへ向けて、人権尊重やUDの考え方について県民の方に理解を深めていただくため、下記のとおり障がい当事者講師によるダイバーシティセミナーを開催します。

「困っている障がい者の方をサポートしたいけど、どうすればいいかわからない」、「視覚障がい者や聴覚障がい者のお客様をどう案内するべき？」などの疑問・不安を感じたことはありませんか？「あすチャレ！Academy」は、パラリンピックやパラスポーツを題材に障がい者のリアルを当事者講師から聞き、学び、一緒に考えるセミナーです。

思いやりを形にする方法を楽しく学び、よりよい社会を作るための第一歩を踏み出してみませんか？

※参加費無料、参加にはお申し込みが必要です。

※手話通訳、2歳以上の無料託児あり。

記

1 セミナーの内容（全120分）

(1) レクチャー

講師の体験談も交えながら、障がいのことやパラスポーツのことを学びます。

(2) 体験プログラム

障がい別のサポートやコミュニケーション方法を学び、実際に参加者同士で実践することで理解を深めます。

(3) グループワーク

出された問題に対し、学んできたことを活かして「自分ならどうするか？」をみんなで考えます。

2 日程・場所等

- (1) 日時：令和2年2月8日（土）10：00～12：00（受付9：30～）
- (2) 会場：福島商業高校 FCホール（福商同窓会館）
- (3) 講師：植松 隼人（うえまつ はやと）氏

生まれつき聴覚障がいがある。

2010年には聴覚障がい者のフットサル、デフフットサル日本代表に選ばれ国際試合などで活躍。その後、デフサッカー男子日本代表コーチを経て、2017年よりデフサッカー男子日本代表監督に就任。

3 参加方法

男女共生課HPに掲載のチラシ裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記受付先へFAXいただくか、以下申込みフォーム（チラシにQRコード掲載）よりご応募ください。

申込みフォームURL <https://www.minpo-ad.net/academy/>

男女共生課HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005c/ud-2019.html>

- (1) 応募締切：令和2年1月26日（日）締切（先着30名まで）
- (2) 受付先：セミナー事務局 [株式会社民報アド内]

電話：024-531-4310

FAX：024-536-2066

《担当より》

2020年最初のメールマガジンです。今年もよろしくお願いたします。

さて、今回もご案内させていただいた「あすチャレ！Academy」ですが、11月23日に開催した第1回セミナーは、私自身も受講者として参加しました。

障がい当事者である講師からの「リアル」なお話は、自分では想像できていなかったことばかりで、障がい者へのサポートの仕方を改めて考えさせられました。また、「障がいは環境が生み出すもの」という言葉が印象的で、「ハード面はすぐにはできなくとも、ソフト面（＝人の心）はすぐにでも変えられる」とおっしゃっていました。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年、少しでも環境が改善できるよう、より多くの方に心のUDを広めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

<発行>

福島県生活環境部男女共生課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

電話024-521-7188 / FAX024-521-7887

電子メール danjo@pref.fukushima.lg.jp

ウェブサイト <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005c/>

当メールマガジンでは、固有名詞を除いて、ユニバーサルデザインを「UD」と表記しています。

ご意見やご感想、また、UDに関するイベント情報など、お気軽にお寄せください。